常磐毎日新聞

日刊

三月十五日　夕刊

定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢　郵稅五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　成本忠治
編輯所　平、長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
（振替口座 [illegible] 四〇二一〇番）

天氣豫報
今晩は北西の風晴
明日は北西の風晴

小作地返去や荒廢地等皆無

隣保相助の美しい結實

銃後の農耕は何等支障なし

事變下の關係と軍需工業の殷張等によつて農村の勞力不足が各方面に叫ばれてゐる折柄、近隣協力の美風に依つて郡下の農村はまだ〳〵勞力に余裕があり銃後の力強い實相が判明した——、今次事變に依る軍需工業の異常な活況と應召等によつて農村の中堅青年が離村しその勞力不足が懸念されて居たが郡農會の調査によると其爲めに小作地を返還して耕地が荒廢するが如き事態は全く皆無であり、側へ老人や婦人の手でも小作地を守ると云つた傾向が強く然も近隣の相互扶助的協力と相俟つて裏作に於ても勞力を最も必要とする麥作の耕地面積が擴大してゐるなど農村の勞力はまだ〳〵余裕ある事が立證されて居る

縣議の補欠戰に

鳴り響く停戰ラッパ

▽……鷺清昇氏を推す

小松常氏の逝去に依る縣議補欠の選擧は來る廿六日執行される筈である爲め石城民政部會にては昨日午後一時から總會を開き種々協議の結果滿場一致を以つて植田町清酒釀造業元縣議鷺清昇氏を擁立すべく決定、是れに對し政友派に於ては任期も僅か半歲を出です殊に國家の重大事に鑑み銃後の摩擦を避ける上から民政派よりの交渉を容れて自派よりは候補者を出さぬ事に圓滿協調成り鷺氏は選擧を用えすして縣議の椅子を占める事になつた

散華した勇士に

供養の花を獻ぐ

横山美聲社中生花會

一般の觀覽者も燒香

平市田町一九横山美聲社中では來る十九日市內丸友ホールで前線で散華した勇士の英靈を慰めるため供花會を佛式により擧行することになつたが、當日は午後より八時迄一般縱覽に供し燒香を願ふ由

戰線の氣持を

銃後に延す

好間村外九ヶ村の

青年團の決議

既報—郡聯合青年團第三方部好間外九ヶ村の聯合青年團總會はこの程好間第一小學校講堂に開催、優良團員の表彰並に團員の研究、体驗發表及び矢吹原修練農場長平山久衛氏の農業經營に關する講演あつて劍道大會等を催し頗る盛會を呈したが終りに左の如き決議をなし銃後下青年の決意を固からしめた

一、時局下青年は戰線の氣持を持續して銃後の職場の奉公をなすこと

一、時局下青年は禁煙、禁酒、斷髮を勵行し國防獻金計畫をなすこと

一、時局下青年は勤勞奉仕、慰問、默禱、歡送弔慰の實を擧ぐること

農業視察出發

既報—篤農青年として君島本縣知事から推薦され財團法人富民協會主催の第五回東北農業革新研究會に參加することになつた山田村鈴木一(三〇)君は愈々明十六日午前九時までに福島驛に參集本縣代表九名と共に勇躍出發するが、同君は十日間に亘り東京、大阪、愛知の各地で開かれる實習に、講習に先進地の有意義な農業事情を研究、視察する筈である

轉業資金貸出

小名濱町社會課では長期建設の物資動員から失業若しくは轉業する染色業靴屋等の營業者に對しては共筋より轉業資金が貸出されるので希望者は社會課主任丹野寬平氏に申込まれたしと

老母よ何處に

東京市足立區梅田町九七七河野友作氏方有馬ヨシ子さん(二七)は昭和十年頃迄茨城縣多賀郡に住んでゐた母のヨノさん(六四)が行方を晦したので其後各方面に手配捜してゐるが最近知人から平方面にゐることを聞いたからと今十五日平署に搜索方を願出た

玉川村役場に

「けふから電話」

玉川村は隣村の鹿島、磐崎には既に電話の設備があるのに同村のみ此の利便から取り殘されて居るので宮內村長は昨年來電話架設に奔走の結果村會の認むる處となり工事中であつたが本十五日朝より小名濱局二四六番として加入通話開始され今後は非常の便益を得るに至つた

煙草教師

會場を變更

既報—明十五日午前十時から平團体事務所に開かれる筈であつた郡山地方專賣局平出張所管內濱三郡下の煙草ホワイトバレー耕作教師の打合せ會は都合により會場を市內マルトモホールに變更した

海中へ眞ッ逆樣

浮標投下の際誤つて

屍体を搜索中

江名町字中之作川岸吉田篤氏所有船第三寶丸（二七トン七〇馬力）乘組員新潟縣北蒲原郡松塚村大字藤塚濱生れ漁夫加藤德松君(二四)は今十五日朝五時半頃小名濱沖合十里の海上で浮標投下の際誤つて轉落、行方不明となつたので目下搜査中だが死休は未だ發見されない

四倉講演會

四倉町國防婦人會と青年團では十四日小學校で總會を開き木村守江氏並に作山美八氏の時局講演會を開いた

草野の村葬

既報前線で活躍中名譽の戰死を遂げられた草野村大字泉崎出身阿部德榮工兵軍曹の村葬は十九日午後一時から同村小學校で執行される

竹村智蓮師に

謝す　（一）

小名濱支局通信

支局長　小野務平

本町に於ける寺院の廢置分合は十數年來記者の唱道し來つた持論であつた、第一の理由としては寺祿なき寺院に味噌摺坊主の蟠居する事は決して能い結果を齎し得ないで却つて風敎上に惡い影響を釀す事が多大である實例を見て居るからであつた、これが廢置分合を行つて寺祿が增大する事に依つて善智善能の高僧を迎ふる事が出き低級なガス坊主は本町には影を潛めると云ふ吉祥事を孕むる事が出來、死者扱ひを本務として居る現境から精神界の先達として風敎上にも働きかけさせると云ふ大理想の上に屈せす撓まず持論を擁護して今日となつたものである

町が茲數年前より本町自性院に閑居として移つて來法丈に竹村智蓮師と云ふ、身は然かも中僧正の地位にある管長格の高僧が住職として悠々自適の生涯を送つて居る事を耳にして居つた、師が住職として自性院に移つてからの自性院は實に舊殼を脫した淨域と化し本堂の新築門衛の石段境界の土步め工の如き全く生れ變つた寺院の本來に歸つた樣な信仰を持つ樣になつた事をも耳にして居つたのであつた

然し未だ師とは膝を交へて談話を交す機會とてはなかつたので高僧としての師にして街道說敎にも出です閉ぢ籠つて浩然の氣を養ふのみではと幾度かは面語せんものと考へたのであつたが機會は捉へ得ずして今日に及んだ、所が茲に壇家たる某が死亡したので諡號を貰ふ可く師に接するに余りも能い機會を與へられた事を喜んだのであつた

或日午後四時自性院庫裏に廻つて師を尋ねた懇に迎へて呉れた師に向つて壇家の某が死亡した事、改名を貰ひたい事、そして某の生活狀態から布施が充分差し上げられない事等に依つて師の慈悲に浴せしめ度事を申述べた、一切を承知した師は告別式に列する僧侶の最少限度の二名を乞ふたのみに對して一名で差支ないと答へ二名は贅澤であると云ふ點に議論が湧いたのであつた

地方の習慣から觀察しても僧侶一人の告別式葬儀は殆ど絕無と見てよい共爲めに二名を請いが贅澤であるとは佛に對する儀禮ではないと考へた記者は地方習慣の萬已むを得ざる事を告げたのであつたが、師は飽迄承知せぬ許りでなく如此き舊慣を打破する必要がある、殊に葬儀當日の僧侶の如きは迎へ坊主に過ぎぬので一人で澤山で無くても差支ない、茲に來れば俺が導師として意向を擧げ成佛せしむるからよい、それに不服なれば他の坊主を賴んで差支ないと意氣昂然として其主張を曲げそうもない

（未完）

植田驛團体

植田驛では目下武運長久戰捷祈願東京方面旅行團体を募集してゐるが出發は二十七日、費用は十三圓である

金を賣り

恤兵金へ

平市四丁目阿部ケサヨさんは金指輪や金時計を賣却して得た金ですがと今十五日平署を通じ金五十圓を恤兵獻金した

陳列窓破り

容疑者を捕ふ

平署では既報の如く去る十日の未明內鄉村大字綴字一之坪山崎時計店の陳列窓を打破り數百圓の貴金屬並に時計類を竊取した事件を重大視し各署に手配引續き搜索中容疑者として日頃同時計店に出入りしてゐた湯本町字辰ノ口相馬郡飯豊村生れ磐炭小名濱坑々夫多田某(二七)を檢擧、取調べて居るが同人は二月下旬頃同時計店から二十一圓餘在中の銀鎖付蟇口一ヶを竊取したことは自白したが陳列窓破りは自分の行爲でないこと主張してゐる由

愛兒の

輪禍に

物狂ふ母親

茨城縣那珂郡前濱村大字前濱二九四小池丑太郎さんは妻のあささん(五七)が去る十日午前十時頃家出行方を晦したからと今十五日平署に搜索方を願出たが

あささんは數年前末子が輪禍にあつてから精神に異常を來たしぶら〳〵してゐたものである

鋪裝工事に

婦人連出働

植田町下町國防婦人會員鯨水石さん外三十名は國防費の獻金運動として十四日朝六時から打揃つて目下工事中の本町通りの鋪裝工事に出役した

衰弱青年

裏山で縊首

夏井村管波盈義氏長男箱好盈君(二〇)は十三日正午頃裏山の山林中で縊死を遂げた、原因は生來病弱なる上に最近神經衰弱にかゝつて悲觀したもの

婆さんを

刎ね飛ばす

植田町中山吉之助氏方運轉手中山義雄(二二)は十三日午後三時半頃トラックを運轉勿來町字町通りを疾走中誤つて同町通り藤田さだ婆さんを刎ね飛ばし右腕に全治一ケ月の挫傷を負せた

暴力犯起訴

既報好間村の縣道を挾んで日本刀や鶴嘴を振り廻し血の雨を降らさんとした事件の關係者二十餘名は其後平檢事局に送られ富澤檢事係りで取調べを受けてゐたが十四日中村由一郎(三八)は脅迫罪で鈴木磐(三三)は住居侵入、三島文雄(二八)以下八名はいづれも暴力行爲で起訴收容された

主家の金を拐帶

押掛け雇人の惡事

植田町本町石炭商近藤作藏氏方傭人自稱保原町生れ高野長治(二七)は十三日朝四時頃現金六十余圓を盜み出し逃走した

同人は去る十一日午後五時半頃近藤方を訪れ石炭の販賣に經驗があるから使つてくれと押かけ的に住込んだばかりのものであつた

勿來女青團

勿來女子青年團ではこの程總會を開き副團長鐵かいよ、幹事小林歌子外二十三名を改選した

白衣の姿で

○隊長臨席

既報—三角山の攻略戰で名譽の戰死を遂げられた錦村江栗出身兩角部隊山野邊勇少尉の村葬はこの程同村小學校講堂で執行されたがこの日故少尉の○隊長大友登茂藏中尉が白衣の姿で參列

山野邊少尉が敵追擊砲片に倒れた同中尉を救はんと駈けつけた刹那再び飛び來つた追擊砲のため壯烈な戰死を遂げたことや上官思ひであつたこと等を語り遺家族、參列者一同を感泣させた

國防費獻金

植田町晋妻すし女主人石田とくさんは女世帶で滿足な銃後報國が出來ぬのを殘念がり數回にわたり國防費に獻金して來たがこの程またも五圓六十五錢を獻金した

二生徒美擧

錦村青年學校生徒赤津豪、同行雄の兩君は日頃の小遣を節約して貯めたのですがとこの程村役場の手を經て金五円を國防費に獻金した

小野少佐通信

恩師福尾氏へ　（三）

鄱陽湖畔にて

小野四郎生

小生等第一線に在るものは事は簡單只々暴敵擊滅に只管邁進されあるのみに候、困苦は元より覺悟の前にて狹隘なる船內生活等は平素より慣れたるもの平氣に御座候、開戰劈頭の一昨夏の頃に較ぶれば物資の供給も豐にして衣食住方表は惠まれ居り候、殊に最近はズット〇〇根據地にありて陸上生活に有り伸々と致し居り候、但し一切の家屋は廢墟に化し支那人住民は皆無の處にて我々強者のみの生活全く沒世間的といはんか田舍暮しと云ふはんか他人生活に近きものに存じ候、作戰或は戰鬪に關しては一切申上兼ね候へ共揚子江上流の陽氣案外よろしく冬も割合寒くもなく例年になき暖かさの山にてむしろ意外に感存じ候、近頃梅の花の眞盛り何やら名も知らぬ鳥も來り囀り愈々春の訪れを覺え申候、先達迄は增水期の夏の頃に較べて揚子江の水面は減水の爲め（年々繰返すものにて候）三十尺余りも下り居り候て方々洲となり島となり或は葭の原（高さ三丈位もある一面の葭）となり蒼海變じて桑田となる。云々を現出致し居り候へども近頃漸次水も增し洲もそろ〳〵水面に沒する樣に相成りつゝこれあり候

（未完）

平市人事

◎出生

△長橋町二二日下小濱町字船引場二〇遠藤信安氏五男常大君

JOHK

今晚の部

▽後六、〇〇　物語「日の丸とこども」神田千鶴子　お話「春と鳥」加藤源治

▽後六、二五　第二次東北振興講座（綜講）—東北振興と東北人の心構へ—貴族院議員法學博士水野錬太郎　二、東北に於ける新生活運動　東北更新會常務理事松村松盛

▽後八、〇〇　管絃樂　ハルピン交響管絃樂團

▽後八、四〇　連續ラヂオ小說「白笛」吉川英治作　坂東簑助

明日の部

▽前一〇、二〇　家庭講座「事變歌について」[illegible]

▽後〇、〇五　トーキー中繼「百萬弗大放送」パラマウント映畫會社試寫室より中繼

▽後三、〇〇　家庭講座「春先の精神病」醫學博士山村道雄

▽後五、三〇　中等學生の時間「大學專門學校歌集」大阪市教員合唱

▽後六、〇〇　子供の時間　連續劇「ほがらか部隊」若草こども會

▽後七、三〇　國民歌謠「日本國民歌」われらみなは文部省撰定、獨唱平井美奈子、伴奏高橋美子

▽後八、〇〇　合唱「勝利の歌」—ブラームス曲、國立混聲合唱團、ピアノ伴奏土川正浩、指揮矢田部勁吉

▽後八、〇〇　連續ラヂオ小說「白笛」吉川英治作　坂東簑助

生徒募集

◎中堅農民は佑賢中等科より
◎受驗難關突破は佑賢專修科より

磐城佑賢學舍

平市城山（電話）九三

◎八月分授業料ハ徵收セズ
◎本年度ヨリ。支部時文科。新設
◎商業簿記科ノ特設
◎古教科書半額以下ノ讓渡斡旋

第三十四回　生徒募集

非常時日本の女性に!!!

婦人の職業として、家庭の衛生學として產婆看護婦をお奬めを致します、それには成績の最もよいと定評ある……。

平南町　產婆看護婦學校へ!。

△申込みは成るべく早く
△新學期の開始は四月八日より

平產婆看護婦學校
校長　淸野キヨ
電話三〇七番

[illegible]三度笠

吉川延　作
瀧秋方　画

……（２０９）……

鼠山　五

瀨十郎は、三樹の死骸に向つて、尙も言葉を續けた。

「殺された相手はわかるか、わかつて居れば、俺が必ず相手を討る。俺の手に合はずば仕方がないが、俺も[illegible]だ、打物取つては、左樣恐ろしい人間が、この世にあらうとは思はないのだ」

彼は、こゝで一寸言葉を切つた。

その際に、松千代は

「兄さん、貴方は、このお方とどういふ仲でしたの、[illegible]、それが知りたい」

と、謎のわからぬ問ひ掛けを結びつゝはなしかけた。瀨十郎はヂロリと妹の姿を見おろして、

「この男の姉と、俺とが戀仲だつた、それを割かれたのだ」

と、低い口調である。この兄にも、戀の悲劇があつたと知ると、松千代は恰も同じ火に、耳を聽くやうな奇異を感じて

「まア、ちつとも……」

と、あきれる。

「不思議なのかい、不思議と思はれる俺の血はくさつてゐるが、仕方がない。俺は、故鄕に居た頃と全く、氣持が變つてしまつた……折角、その戀敵を殺した父の仇をうつたのに……との者に知らすことが出來なかつたのが殘念である」

「さう、そんなことがあつたんですか……その話を、この方の遺族の誰にも、はなしてお聞かせ下さいませ、兄樣！」

と、松千代は淚を含んだ目で兄の顏を見上げた。

三樹行燈の枕頭には、燈明の灯が瞬いて、線香が細い煙を立てゝゐた。

「その謎か……どうも[illegible]のことを繰りかへすのはいやだよ」

と、瀨十郎はあぐらをくんでうつむいて、昔のことを靜かに考へてゐるのであつた。

「さうでせうけれど、兄さん、この人にも親戚のお方もおありでせうし、それに、なんにも知らせずに殺されておしまひになりましたのでございます」

「それがなんだい」

「それで兄さまのお話を承つておきましたら、又、誰方かとお目にかゝりました時、お話も出來ると思ひますわ」

「そんな話なんかしてほしくないよ、これは、只一人、俺の胸にいだいて居れば、それで好いのだ」

と、瀨十郎は、昔の話語りを妹に聞かせる事をさけやうとする。松千代は自分の今の境遇から考へて、非戀らしく思はれる兄の過去を知りたくてたまらないのである。

「そんなことおつしやるものではありませんわ、あたし、兄さんとおさない時分にお別れして何にも樣子を知らない人間でせう、この方にも關係のあることでしたらなほ更聞きたいと思ひますわ」

「うるさい奴ちや、それよりも酒でも一杯もらはうか」

と、瀨十郎

「不躾な兄さん」

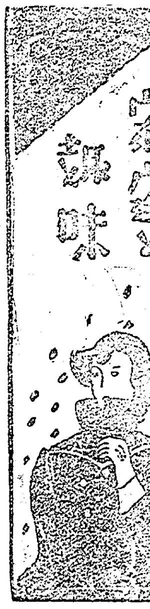
と、松千代は笑つた。

「いゝよ俺が、死體の枕頭で酒を飲んだからといつて、この世はいやな思ひをしやしないよ」

と、瀨十郎は、そばに、[illegible]て、二人の會話を聞いて[illegible]中に

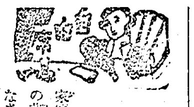
「おい、酒を持つておいで」

と命令する。



便利帳

衣類についた墨のシミは、たらひに張つた湯の中へ茶匙一杯のアムモニヤを入れてその中で洗ふと落ちます、もしそれでも落ちませんでしたら、そのシミの部分の上へ飯粒を載せてシミのなくなるまで放置して置きます



服装の改善を實行

小口みち子

家庭の婦人が、この非常時に際してなさねばならぬことは、生活に關係のない贅澤に於て物資を經濟に使ふことの研究でありませう、中でも服装を經濟的に且つ簡略に變へることについては、大いに考へる餘地があります、殊に此の際よいと思つた事はどし〳〵改善してほしいものです

ちかごろコートの襟地は都すべりだけにする人もあつて結構な事と思ひます、袴裾にしても裾はすべりだけにしたらどうでせう、細い※二裾の組紐と何程の負擔にもならないし、お洒落の上にらさして問題になりません、手縫と縫線が施されてあるばかりです

服装などでも、なるべく無装にしたいと思ひます、結構であるばかりでなく、仕立てるにも手入れにも、どれだけ便利だかわかりません、婦人によつては着物も、袴、袖口をつけただけでもよろしいでせう、防空用としては裾下の無しとか、袴などを利用して頂くことをおすゝめいたします

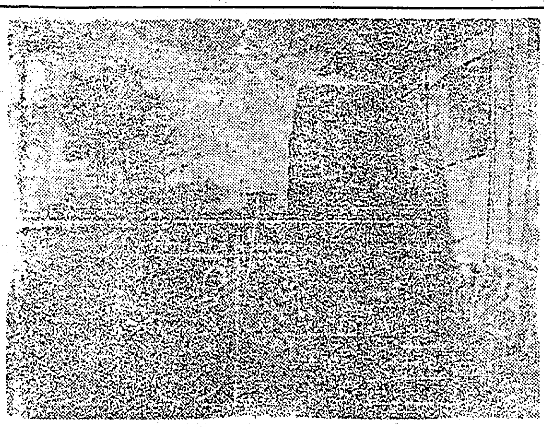
いくら經濟的にと申しましても、無理をとると云ふような事は、すぐに形の上にあらはれて、感情の上からも實行の出來るものではありません、目に見えぬ所から改善する方がよいと思ひます、衣をはぶく代りによい衣地を用ひて仕立てるならば、あとの經濟のために出來た着ごゝちもよいと云ふものです、私は昨年の秋から單衣の着物を着てゐますが暖くて、なか〳〵よいと思ひます、自分自身の着物は明日からでも出來るものですから、よいと思つたことは力強くやることです

ハンケチの綺麗に

煮洗ひせよ

洗濯は總て汚れた場合にするものですが、ハンケチだけは、たとひ一度目には眞白でも、三四日も使つたら必ず洗濯をなさるべきです、それは鼻や口や手など拭くので、綺麗に見えても細菌の附着してゐる場合も憂慮されるからで、その洗濯も單に綺麗に洗ふのでなく、熱湯をそゝいで洗ふか、出來ることなら煮洗ひにしたいものです

殊に、家庭に傳染し易い病人のある場合や、旅行の際などは特にこの注意が肝要です



春のどか

おひな様物がたり

まつかな、燃える様な緋毛氈、つやゝしい内裏様の顔の色つや
右近のたちばな、左近の櫻、桃の花も飾つて、もう雛まつりを待つ
ばかりですね、たのしい〳〵雛

まつりを迎へます皆さんに一體此の雛まつりはどうして行はれるかと云ふ事など、日本趣味家で人形研究家の西澤笛畝先生にうかゞひました

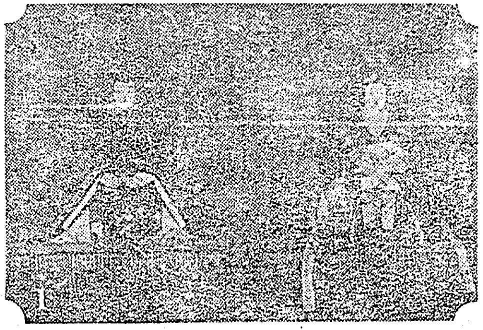
正義のためには一死君國に殉ずると云ふ、勇ましい日本國民は、一方ではとても優しい心を持つてゐます、櫻ひの風流や、詩歌をたのしみ、また敵を愛する心を持つてゐます、かうした、ひろい心はどんなにして日本國民の頭の中に養はれて來るのでせうかと申しますと、それは幼いころに、人形を飾つてたのしむ、やさしい心根があるからでせう、その意味で、ヒナまつりが段々盛んになつてゆきます、これは嬉しいことです

人間が此の世の中に生れ出ると何時どんな禍が降りかゝるかわかりません、その災難の身代はりにと人形は初め作られました、お父さんや、お母さんは、子供の無事な成長をどんなに願ふことでせう、そこで子供の災厄を引受けてくれた御恩返しにお人形を飾つて、慰めると云ふことがこのヒナ祭の起りでせう、雛祭は、昔は女の子だけのものではなかつたのです、しかしお人形ですから、これは女の姿にした方が優美だと云ふので、だん〳〵と女の姿に、女の子のお祭りに代つて行きました。また、そのおまつりも、三月三日と日がはつきりときまつてゐなかつたのです、例へば、お誕生日とか、何か特別の記念すべき日などに飾つておまつりしたものです、その頃はまた、今の様にヒナダンなど作つてきらびやかなものではなく只人形だけを飾つたものです、その人形も立雛と云ふごくそまつな紙や布でこしらへた簡單なものですが、世の中がだん〳〵と進歩してくるにしたがつて、それでは滿足出來ずに、いろいろと、綺麗な衣裳をつけたものなどがつくられ立ヒナから座ヒナと代つて來ました、徳川の中ごろ以後になつてから今の様な内裏雛や、いろ〳〵の飾り道具などをかざりたてるようになりました、更にその後になつて一對のヒナ人形を良い方のお姿になぞらへて、忠君愛國心をやしなふ一方に、女の子の婦德涵養を、そのまつりのたのしみの中から得させると云ふようになつてまゐりました

……　……

人形として人間の災厄を引受けると云ふ話は西洋によい例があります、あちらでは日本のようにヒナまつりはありませんが、病氣などにかゝるとワラのお人形をつくつて、例へばお腹の痛い人は、お人形の腹の部分に御飯の中にいくらかのお金をにぎり込んだものをつめ込んで、自分の家の前の街路などに投げすてゝ置きます、すると乞食がやつて來て、早速ワラ人形の中の御飯とお金を取出して行つてしまふのです、それを見て、もう自分のお腹の痛みは取つて行かれてしまつた、これで自分の病氣は會快する、……と言ふのです

こんなのは一種の衛生療法と云ふのでせうが現代では今でも行はれてゐます、こんな風習がありますので、日本でお人形を飾つてお祭りするのを不思議がつてゐます向ふではお人形を身代りとしてもすぐ捨てるか焼きすててしまひますが、日本で雛祭を取入れてだん〳〵とヒナまつりをやるようになりました。



……　……

私は人形研究のために、いろいろと古い人形をあつめてゐますが、時折、その古いヒナ人形の胴體の中から、親たちが自分の子供のぶじな成長を願つて、その子の氏名と詩文などを封じ込んで置いたのを發見することがありますが、そんな時、昔もかはらぬ子を思ふ親心の尊さをしみ〳〵と感ずるのであります

ついでにヒナダンのかざり方に注意をしませう。およそヒナダンに向つての手勝手で云ふとして

第一段　一番後に金屏風を立てるか、まん幕を張るとして向つて右を親王、左を王妃、その中間にしよく臺かボンボリを置く

第二段　左近櫻、ヒシ餅、ひなの膳、白酒、ひなの膳、ヒシ餅、右近のたちばな

第三段　老隨身、杯を持つた官女、長柄銚子を持つた官女、提銚子を持つた官女、若隨身

第四段　左右に貝をけ、その間に五人ばやしを、謠、笛、小鼓、大鼓、太鼓の順序でならべる

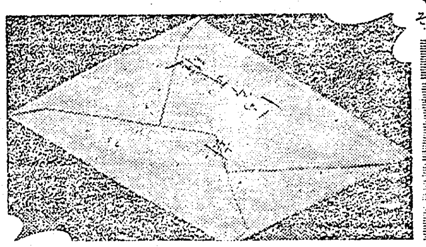
第五段　中央は犬張子一對、雛の膳には道具人形類、段の下には供物一切をおきます

奥様讀本

水餅の焼き方

水餅は金網にねばりついて中々よく焼けずシンが固いのに表の方は眞黒になり厄介なものですが、まづ金網を火にのせて五六分間焼いて熱を與へ、それから水餅を拭巾でよく拭いて水氣を去り、その上で焼くようにすればねばりつく心配もありません

尚一旦水氣を拭きとつた餅を紙ではさんで火にかざし、表面をかはかしてから金網にのせると更に效果的です



封かんはがきに名刺・寫眞の同封

二〇瓦迄は許される

「封緘はがき」が一ぱいになつてまだ書きたらない場合は別に封緘はがきに同封し得るレター・ペーパー乃至はザラ紙に所要の文を書いて同封しても有効である。この規定は「サンドウイツチはがき」の場合と同様

即ち封緘はがきは官製はがきと同様、原型のまゝ使用することが原則だが、他物（書き足しのレター・ペーパー、切符、切手類、名刺等）を封入した場合は、第一種有封書狀の扱ひを受けることになり、封緘はがきとしての料金内容がそのまゝ有効になる。故に閉ふうのふう緘はがきが二〇グラムを超えなければそのまゝ使へ二〇グラムをこえる毎に四錢切手を貼ればいゝわけです

藥を服む時

水と湯とで効能が違ふ

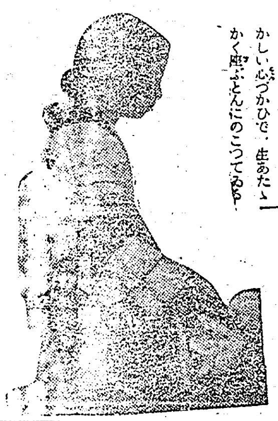
藥をのむのに水を用ひるのと微溫湯を用ひるのとできゝめの違ふものがあります、アスピリンは解熱劑としては冷水、解熱發汗劑としては必ず微溫湯を用ひるのがよく、カルモナンなども鎮靜劑としては冷水、催眠劑としては微溫湯の方がはるかにきゝめが早いのです、しかし、頓服は

昭和の作法集

日本間で座ぶとんをすゝめられた時は、遠慮なくすわるのが正しいのですが、主人が出て來て、お辭儀をする時には、必ず、座ぶとんから下りてお辭儀をします、相手が目下の人でも、必ず片膝は座ぶとんからおろしてお辭儀をすべきです。又、人によつては、お客に行つて歸る時、今まで自分のしいてゐた座ぶとんを二つに折つて脇によせる人がありますが、あれは失禮で、よい座ぶとんなど折られてこまることがあります

ざぶとんへ座り方

但し、次の來客が來ても座ぶとんがない時、自分の座ぶとんを返してすゝめる事はゆかしい心づかひで、生あたゝかく座ぶとんにのこつてゐる自分の温みを、他人に不快に感じさせる事もなくてすみます



祖國（そこく）

堀健吉作
畠野圭三畫

鶴田川　六

・・九一・・

はて、その後、もう久しく木良とも會はないが、何か變化でもおこるやうなことはなかつただらうかと少々不安におもつた。

「はて、電話でもかけて見ようかな」

と、獨り語つた。

「それ〳〵、そろ〳〵君もあひたくなつたんだらう」

と山下がひやかした。

「電話でもかけて見たまへ、今時の若い女性はな、なか〳〵あれで喰へないもんだぞ、殊にインテリと云ふものは、リンゼーの友愛結婚とか、ソヴイエット・ロシヤの性の解放だなんて、とんでもない思想にかぶれて、すぐにそれの實行をやらかすんだからたまらないよ。君、うつかりしてゐると、その木良さんも案外喰はせものかも知れんぞ」

と、山下が赤い顔で、こゝぞとばかり八木の氣持をアヂリはじめた。

「いや、なに、そんなことは絶對にないよ、あり得べからざることさ、女醫と云つても彼女は家に財産もあるし、母親一人の後とり娘だからほかの職業婦人と同類にしてはいけないよ」

と、八木も少々不安になりながら、木良の美しい、すつきりとした容貌や、貴族的な立居振舞などを思ひ出した。

その立居振舞は少くとも一世代の金持の家族の出來るところではなかつた。たしかにそれは教養にちがひなかつた。

だが、サロンと云へば、八木は大阪のサロンを思ひ出した。

順子の母が所屬してゐる何とやらのサロンのメンバーに、自分の生命をつけねらつた不良がゐた。

世の中は一歩先は眞つ暗だ。

自分が愛してゐる婦人さへも、とんだ恐ろしい陰謀者であるか知れたもんぢやない。木良孃子は孫娘、千賀夫人によつて、一つの陰謀をたくまれてゐること、八木の確信したところだつた。

まつたくこれは木良の身の上をわすれてゐたのは迂闊千萬と云ふほかはない。

と、八木はかんがへて云つた。

「あゝ、此處にお呼びするわけにはいかんが、一寸、僕は電話をかける義務があつたんだ」

と、山下が云つた。

「戀は急げだ、愛はきえやすいものだよ」

八木はからかひには答へないで、さつさと立ちあがつて、電話室に向つて、電話口に案内してくれとたのんだ

「まあ、お電話おかけになりますの、お電話でもとりあへずお繋ぎ申上げますわ」

と云つて、すた〳〵と先に立つて歩きはじめた。

電話室にはいつて相手を呼び出すと、アパートの事だからなか〳〵電話には出る者がない。

やつとの事で、門番が出た。

「おい。二階の木良さんの部屋につないでくれ」

と、彼が云ふと

「いや、木良さんなら、除隊軍人と旅行にお出かけになつたきり、今だにおかへりにならんですよ」

と、云ふ返事だ。

「いや、それは本當か。初耳だな。幾日位前だ、幾日位前だ」

「さやう、はつきりした事は覺えてをりません、一體あなたはどなたですか」

と、門番がきく始末だ

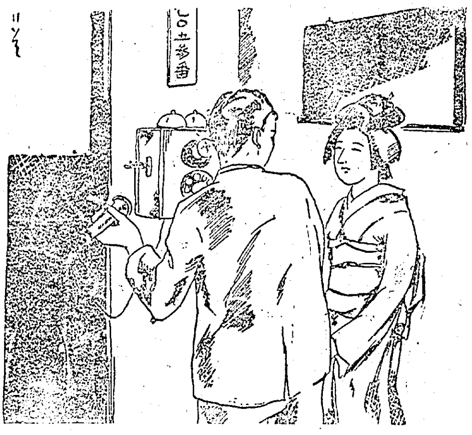
「いや、僕は木良さんの友達の野際の醫者だよ」

と、云ふと相手は急に親切になつて、

「いや、くはしくおしらべになりたかつたら、學校の方へでもお問合せになつたらよろしいでせう、帝都の何々醫學大學」

「いや、有難う」

八木は受話器をおいた。



鰹節
特製
みりん干
美味
鰹
いか
鹽から
志賀盛榮商店
平市四丁目（電話二一一三番）
日本生命平代理店

生徒募集
◎願書受附　三月三十日迄
本科（二ケ年卒業）一年　五十名
裁縫專修科（一ケ年卒業）一年　百名
師範科（一ケ年卒業）二十名
專攻科（一ケ年卒業）三十名
△本科、裁縫專修科二年補欠入學　若干名
△附設洋裁科（六ケ月修了）若干名
圖詳細は學則請求ノコト
文部大臣認可　藤田女學校
平市田町（電話三二八番）

おそば!!電話4番
やぶそばへ!!
天ぷらそば
おかめそば
玉子とじ
鴨南ばん
出前迅速
其の他各種御座います。何卒御試食の程御願申ます。

メガネは!
平市二丁目
玉屋

專門
花柳病科
婦人科
產科
▼入院隨意
井坂醫院
平市田町　電話五五九番

國策の線を行く
鐵管の代用品
エタニツトパイプ
十尺モノ一本單價（水壓二五〇ポンド）

		一本單價	ギボルトジョイント（ツギ手）
D級	二吋	三、五四	二、一〇
	三〃	五、二三	二、五四
B級	四〃	五、五九	三、七八
	六〃	一二、一七	五、五六

鐵材
金物
工具
山田文一商店
平市仲町通り
電話二六二番

吉田眼科醫院
平市紺屋町
電話八六番

國旗と提灯

花柳病科　外科
本村外科醫院
平市六丁目橋際　電話三〇九

父清葬儀に際しては御多忙中にも不拘遠路態々御會葬被成下且つ御鄭重なる御香奠を賜はり御厚志の段難有奉深謝候一々拜趨の上御禮可申上の處乍略儀以紙上御禮申述度如斯御座候　敬具
昭和十四年三月十五日
四倉町
男　江口勇
親戚總代　江口伊六
江口軍二
鈴木唯治
友人總代　堀江新太郎
萬年瓦工業株式會社

喜多流謠曲と仕舞の
お稽古をお奬め致します
入會隨時
喜多流　謠曲仕舞　白土會
平市田町六九
電話一二七番

市內某醫院
◎至急……有資格經驗ある
看護婦を募集す
月給十圓―二十圓給與す
姓名在社

電話五九二番に變りました。
食事　喫茶　酒場
レストラン
サロン
平市銀座街

近づきました。
御子様のウレシイ。樂シイ。
新入學期
ランドセル
手提鞄
學生帽子
色々陳列して御座います。
平市四丁目
ツルヤ　電一四〇

高久病院
院長　醫學士　高久忠
副院長　新潟醫學士　赤羽清
藥局長　藥劑師　佐竹菊雄
內科小兒科　外科花柳病科
耳鼻咽喉科
―◎看護婦至急募集―
平市田町　電話五一三番